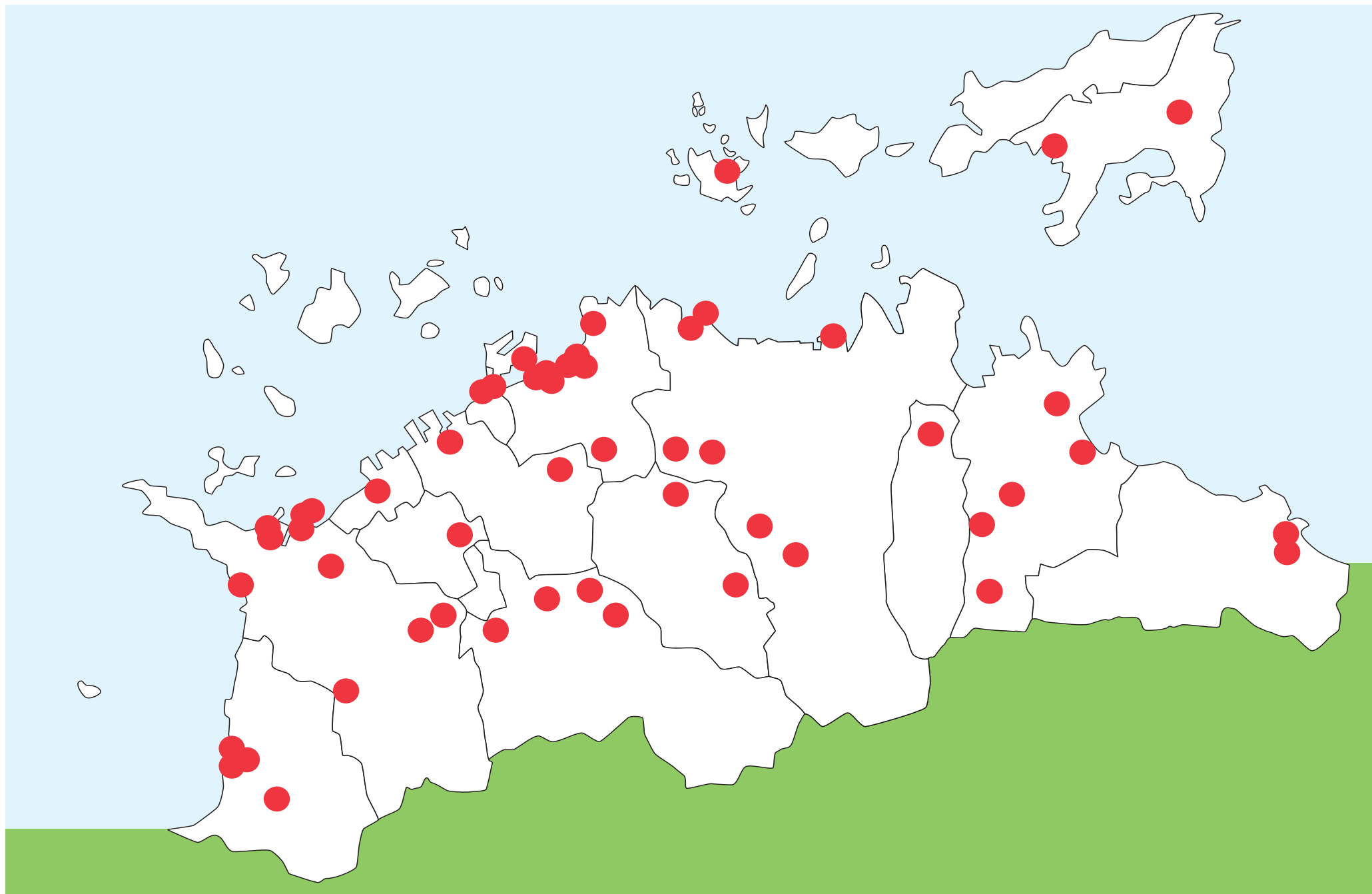
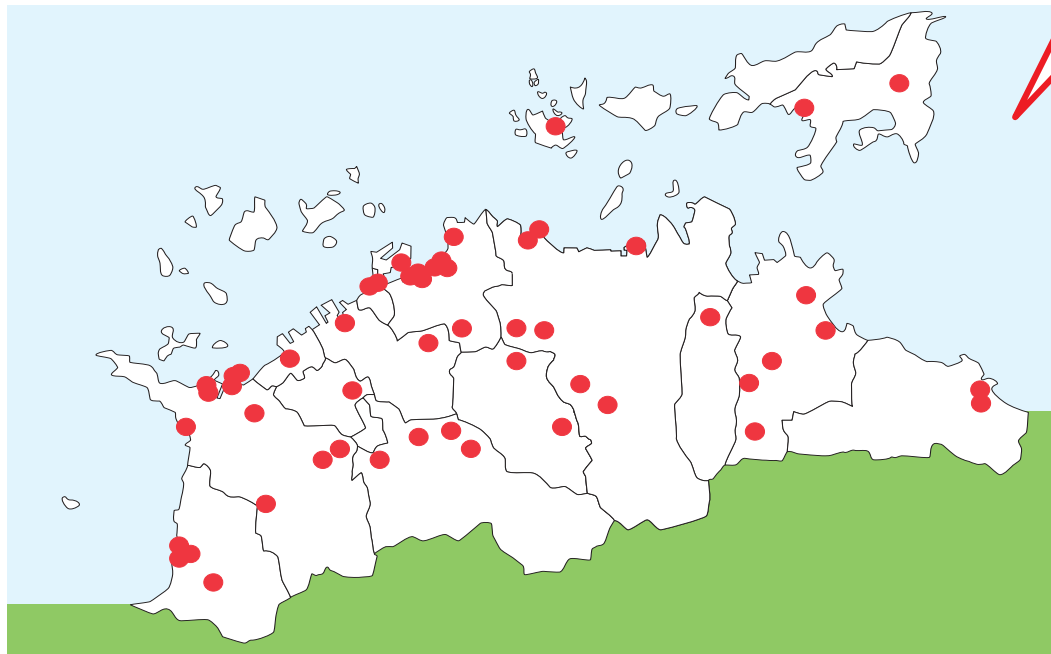


県内に広がる大規模ソーラー発電所



【ねらい】自然を生かしていた昔の生活・産業の中での様々な智慧や工夫をより高度に生かす香川の身近な地域社会の中での新たな取り組み事例を示すことにより、エネルギーをいかに効率よく使っていくかを考えさせます。

県内に広がる大規模ソーラー発電所



※資料64（塩田跡地にソーラーパネル）と関連付けて使用することで、日照率の高さを生かし、塩田跡地などの遊休地を中心に太陽光発電所が県内に広がっていることに気づくことができます。

【関連する各教科の学習内容】

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会	○飲料水、電気、ガスの確保 ○県の地形や産業、県内の特色ある地域				【地理】 ○世界と比べた日本の地域的特色（資源・エネルギーと産業） ○日本の諸地域（産業）（環境問題・環境保全）		
理科		○電気の働き		○電気の利用			【公民】 ○私たちが国際社会の諸課題（地球環境、資源・エネルギー問題） ○私たちが国際社会の諸課題（よりよい社会を目指して）
技術・家庭（技術）					B エネルギー変換に関する技術		
家庭					○エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について		
技術・家庭（家庭）					○家庭生活と環境		

【資料解説】

この地図は、平成25年11月末時点で香川県内での事業実施が決まった大規模太陽光発電所（500kW規模以上のもの）の位置を赤丸で表したものです。

●固定価格買取制度で進む大規模太陽光発電の設置

平成24年7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が始まり、再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）によって発電された電気を、その地域の電力会社が一定の金額で買い取ることが義務付けられました。買い取りの価格や期間について、発電設備のコストや耐用年数、適正な利潤など、事業の採算性も考慮して決定されたことから、遊休地を活用した大規模太陽光発電への参入が進んでいます。

特に、香川県は、年間を通じて雨量が少なく日照時間が長いほか、発電した電気の配送に必要な電力網に恵まれるなど、太陽光発電に適した環境にあります。また、20年間の買取期間を考慮すると、自然災害が少ない点もメリットとして挙げられます。

こうしたことから、県内では、500kW規模以上で県が把握しているものだけでも、既に53箇所事業実施が決定しています。

●塩田跡地をはじめ、県内各地に広がり

太陽光発電と塩田に適する自然環境はよく似ています。大規模太陽光発電所は、資料64でみた塩田跡地をはじめ、事業所の跡地や工場の屋根の上など県内各地に広がっていますが、中でも、坂出市や三豊市詫間町付近の沿岸地域に多くが集まっており、かつて塩田が栄えた地域に集まっていることが分かります。

●約25,000世帯分の発電量に

事業実施が決まった53箇所の発電所の規模は、合計で約82,040kWとなり、これにより、一般家庭の約25,000世帯分の電力需要を賄うことができると試算しています。（一般的に、1,000kWで一般家庭の300世帯分の年間電力需要を賄えると言われています。）

$$82,040\text{kW} \times \frac{300\text{世帯}}{1,000\text{kW}} = 24,612\text{世帯分}$$

データ提供：県企業立地推進課